



まんだらげ

vol. **16**
2011.3

金剛峯寺門前のシダレザクラ(高野山)

■看護師・助産師募集

和歌山県立医科大学附属病院では看護師・助産師を募集しています。

※募集等詳細につきましては当大学ホームページをご覧ください。または下記までお問い合わせください。

<http://www.wakayama-med.ac.jp>

公立大学法人和歌山県立医科大学 和歌山市紀三井寺811-1

電話: 073-441-0711 事務局総務課

CONTENTS

- スペシャリスト紹介
- 病棟だより/12階東病棟
- お薬の豆知識/「塗り薬」
- くるーずあっぷ/ボランティア活動報告
- 院内トピックス/都道府県地域がん登録事業

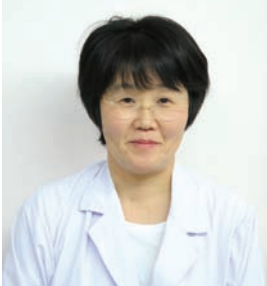
広報誌「まんだらげ」の名称について

和歌山を代表する江戸時代の外科医・華岡青洲が全身麻酔薬として用いた植物「曼陀羅華(まんだらげ)」から引用しています。花に「医」の文字をデザインしたものは、本学の校章にも採用されています。

- ### 理念
- 私達は患者さま本位で、質の高い医療を提供し、地域の保健医療の向上に貢献します。
- ### 基本方針
- 1 患者さまとの信頼関係を大切にし、安全で心のこもった医療を行います。
 - 2 高度で先進的な医療の研究をすすめ、その成果を反映した医療を行います。
 - 3 豊かな人間性と優れた専門技術を持った医療人を育成します。
 - 4 地域の中核病院として、和歌山の保健医療を推進します。



【薬剤部】 和歌山県立医科大学附属病院の 認定薬剤師を紹介します



感染制御認定薬剤師
中西 町代

薬剤師として今年で18年目。通常業務は患者さん一人ひとりの症状に対して処方される特殊製剤を作っています。医師の依頼により、一般に市販されていない薬剤の調整を行っています。製剤するのに滅菌から7時間かかるもの

もありますが、患者さんが元気になられることを励みに頑張っています。丁度5年前にMRSA感染症に対して使う薬に携わっていたとき、知識を深めたいと思い、感染制御認定の資格を取得しました。今年度は抗菌化学療法の実践教育プログラムを受講し、ステップアップしたいと思っています。



がん薬物療法認定薬剤師
西村 知恭

当院の化学療法センターに勤務しています。医師の処方を確認しながら患者さんのための抗がん剤の混合調製をしたり抗がん剤の副作用と、症状・対応方法を説明するのが、私の仕事です。安全で適切な化学療法を実践し、

高度な薬物療法に対応できる知識や技術を身につけるために、がん薬物療法認定を取得しました。抗がん剤には約100種類あり、副作用もあります。化学療法の苦痛を軽減し、抗がん剤治療を受ける患者さんに、安心していただけるよう、コミュニケーションを大切にしながら心のケアにも努めたいと思っています。

病棟だより

【12階東病棟】

一人ひとりの患者さんと向き合い 回復促進に向けてサポート

12階東病棟は全50床あり、糖尿病内分泌代謝内科と放射線科の混合病棟です。看護師、補助職員は23名。医師と連携しながらチームワークで患者さんとのコミュニケーションを大切に、症状の緩和と早期回復をめざしています。糖尿病においては、生活習慣を改善する教育入院があり、食事療法、運動療法など日ごろ

の生活習慣を改善することで、糖尿病の重症化を予防します。患者さんが自宅でも生活改善ができるようサポートしています。



お薬の 豆知識



シリーズ⑰

「塗り薬・貼り薬」～薬剤部から～

塗り薬には、湿疹や水虫などの皮膚病だけでなく、口内炎、痛み止めに使うものまでいろいろ剤型はありま

す。一般的には軟膏、クリーム、ローションなどさまざまで、同じ成分を含んでいても皮膚の状態(乾燥しているか、湿っているか)や部位(頭、目、顔、足、手ほか)によって使い分けます。塗り薬には皮膚の細胞の間を通過して吸収される経路と毛穴から吸収される経路があります。皮膚の厚みによって吸収の程度も違ってきます。塗る量や回数など使用方法は、医師に確認し指示に従って正しく使いましょう。

ぐるーずあっが

いつも元気いっぱいの笑顔で患者さんをサポート ～ボランティア活動中!～

正面玄関に入ると水色エプロン、青色ジャケット、黄色い名札のボランティアさん。はじめて来た患者さんに診療科のご案内や、車いすの介助と大活躍です。「和医大ボランティアの会」では、患者さんがスムーズに受診できるように、午前中(8:50～11:50)、約10名が活動しております。水曜日は午後(11:50～14:50)も活動中です。また小児科、緩和ケア、整形外科の病棟でも、患者さんのお話し相手、洗濯のお手伝いや、プレイルームでの読み聞かせなどさまざまな活動を行っています。

このような活動とともに、年2回、研修会や意見交換会を開き、より良い患者サービスの提供につなげています。

あなたも病院ボランティアに参加してみませんか?



あたたかいお心お待ちしております!



ボランティアのお問い合わせ先

病院課(4月1日から医事課)

電話: 073-441-0517

受付時間: 平日8時45分～17時30分

院内とびっくす

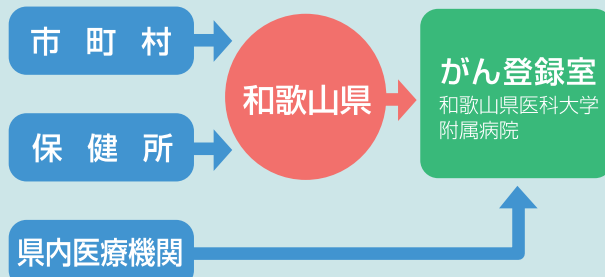
「都道府県地域がん登録事業」 今年度から実施予定

がんの実態は、患者さん1人1人の資料を蓄積、集積する以外に把握する方法がありません。そこで全国各地では「都道府県地域がん登録事業」が実施されています。和歌山県では平成23年度から同事業を実施、和歌山県立医科大学が「がん登録室」を設置し、登録などの実務を受託する予定です。

この事業は「がん登録」によって、がんの罹患率、がんの進行度(病巣の広がり)、がん患者の受療状況(診断・治療・検診ほか)、がん患者の死亡率など、がん医療の実態を把握し、がん医療の向上やがん対策を講じていくことを目的としています。

和歌山県在住者が県内の医療機関でがんと診断され、治療を受けた情報を、医療機関を通じて、がん登録室が提供を受け、収集・整理・解析などを行い、和歌山県がん対策の基礎資料として役立てます。精度の高い情報を収集するためには、県内の医療機関のご協力が必要となりますので、よろしくお願いいたします。

また、患者さんとその家族、主治医、医療機関において、がん登録ではさまざまな安全保護対策が講じられていますので、ご安心ください。



予約センターからのお知らせ

～診察予約のご案内(初めて受診される方)～

当院の外来受診は、原則として「予約制」とさせていただきます。
ご予約は、できるだけかかりつけの医療機関などからFAXでお申し込みください。

■医療機関からのご予約

- ① かかりつけの医療機関などから当院所定の「予約申込書」にて地域連携室にFAX送信してください。
- ② 20分以内を目途に予約をお取りし、予約日時・医師名を記載した予約票を発信元の医療機関にFAX返信いたします。
- ③ 予約当日は、予約票・紹介状・保険証・診察券(受診歴のある方)をご持参のうえ、外来受付に直接お越しください。

地域連携室

FAX番号：073-441-0805
受付時間：月～金 9:00～17:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■ご本人からのご予約

- ① かかりつけの医療機関などで紹介状をご用意ください。
※特定の医師による診療をご希望の場合は必ず「〇〇科〇〇医師」あての紹介状をご用意ください。
- ② 当院予約センターに直接お電話ください。
※午前中は、電話回線が混み合うこともございますので、なるべく午後の時間帯にお願いいたします。
- ③ 予約当日は、紹介状・保険証・診察券(受診歴のある方)をご持参のうえ、外来受付に直接お越しください。

電話予約センター

電話番号：073-441-0489
受付時間：月～金 8:30～16:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

お手軽検査 糖尿病など気軽に早めに健康チェック

お知らせ

血液検査で健康状態をチェックする「お手軽検査」。当院および他の医療機関で受診中以外の16歳以上の方が対象で、初診療や健康保険証は不要です。

希望の方は2階正面玄関の県民コーナーに設置している自動券売機で調べたい項目の検査券を購入のうえ、3階中央検査部受付までご持参ください。申込書に

必要事項を記入いただき採血します。
検査結果は後日、医師によるコメントを付けて郵送します。匿名希望の方には、引換券をお渡します。再度ご来院ください

検査料		梅毒	600円
脂質・痛風	1100円	糖尿病	800円
肝機能	1100円	貧血	300円
腎機能	300円	前立腺	1500円
B型肝炎	1100円	C型肝炎	1300円



和歌山県立医科大学附属病院広報誌 まんだらげ〈vol.16〉

2010年6月発行

発行／和歌山県立医科大学附属病院
〒641-8510 和歌山市紀三井寺811-1

TEL 073-447-2300

外来受付時間

- ・受付時間 午前8時50分～午前11時30分
- ・再診で予約のある方は指定時間(予約票の記載時間)
- ・休診日/土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)

次号発行は
6月です。

【ホームページアドレス】 <http://www.wakayama-med.ac.jp/hospital> ※診療スケジュールは、ホームページからご覧いただけます。